

化粧品の剤型別にみる 安定性試験法と品質保証のポイント

1名分料金で
2人目無料

- ◆日時: 2018年9月27日(木) 12:30~16:30
- ◆会場: 商工情報センター 9F 第2研修室
- ◆聴講料: 1名につき49,980円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をさせていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

- ・1名でお申込みされた場合、1名につき**47,250円**
- ・2名同時でお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で49,980円)**

※大学生、教員のご参加は、1名につき受講料10,800円です。

(ただし、企業に在籍者は除きます。また、2人目無料も適用外です。)

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: 化粧品技術アドバイザー 小林 進 氏

《ご略歴》 1971年4月 (株)資生堂研究所基礎研究所入社

1990年 製品研究所ベースメーキャップ製品Gグループリーダー

1992年 製品研究所ポイントメーキャップ製品Gグループリーダー

1996年 資生堂板橋工場 技術部長兼ISO推進室長

2001年 資生堂板橋工場 工場長 2006年11月 (株)資生堂 定年退職

2007年4月~2017年3月 資生堂美容技術専門学校非常勤講師

2015年~ 化粧品技術実践講習会(化粧品技術者会大阪支部)講師

《研究所での主な研究・業務》

化粧品用原料(オイル・ワックス等)の合成・開発、粉末処理等(13年)、メーキャップ化粧品(化粧下地、ファンデーション、口紅、アイシャドウ、マスカラ、ネイルエナメル等)の処方設計(12年)

《工場での主な業務》

粉末化粧品(ファンデーション、アイシャドウ、ほお紅、おしろい、マスカラ、アイライナー、パウダースプレー、ローションパウダー)の開発、製造および品質保証(10年)

化粧品の安定性は品質保証の面から非常に重要であり、企業の信頼性を左右するほどの影響力を持つにもかかわらず、企業の重要なノウハウ・機密事項に属するため情報の入手が困難である。安定性の問題はクレームに直結する可能性が高いため、常に安定性に優れた製品を開発する必要がある。また化粧品は複雑な系から成り立っているため、処方設計から生産現場に至るまで経験に頼っている割合が大きい。このような事情から理論的研究と製造現場との融合が進んでおらず、トラブル発生時に真の原因が捕らえられないことから何度も同じ失敗を繰り返しているのが現状である。安定性の優れた製品の開発は、「安定性理論の理解と処方設計および製造現場への応用」「過去のクレームの解析と原因究明」「剤型に対応した安定性評価法(試験法)の確立と品質保証水準の設定」が三位一体となることによって可能となる。本講座では、品質保証の基本的考え方、主な安定性理論、剤型に対応した安定性試験法(評価法)と品質保証水準の設定について主に解説する。

- | | | |
|---|---|---|
| <p>1. はじめに</p> <p>2. 「失敗学」事件簿 あの失敗から何を学ぶか</p> <p>3. トラブル再発防止策について(対処療法型と根本治療型)</p> <p>4. リスクマネジメント</p> <p>5. 最近のトラブル事例</p> <p>5.1 悠香茶のしずく石鹸、ロドデノールによる白斑問題)</p> <p>6. 品質管理手法</p> <p>7. 安定性試験法</p> <p>8. 特性値の変化と許容範囲</p> <p>9. 保管条件</p> <p>9.1 サイクル温度試験</p> <p>10. 保存期間およびチェック時期</p> <p>11. チェック項目(特性値)</p> <p>11.1 原料(オイル、ワックス)</p> <p>11.2 原料(粉末、顔料)</p> <p>11.3 製品</p> <p>11.4 容器</p> <p>12. 汎用される試験法、分析法分析機器と測定対象(測定項目)</p> <p>13. 安定性を評価するためのチェック項目と測定機器</p> <p>14. 安定性チェック法</p> <p>15. 外観検査におけるチェック項目</p> <p>16. 剤型別品質トラブル</p> <p>17. 安定性試験法各論</p> <p>17.1 加速(過酷)試験法</p> <p>17.2 ブツ(結晶析出)加速試験について</p> | <p>13. 成分除去試験</p> <p>17.4 光安定性(耐光性)試験</p> <p>17.5 応力試験</p> <p>17.6 落下試験法</p> <p>17.7 振動試験</p> <p>17.8 荷重法</p> <p>17.9 ワイバー試験法</p> <p>18. 使用場面を考慮した安定性保証</p> <p>石けん・洗顔料類、サンケア製品類、入浴剤類、エアゾール製品類、樹脂に対する可塑性の高い化粧品類(ヘアリキッド等)、ヘアカラー製品類、ヘアトリートメント製品(枝毛防止剤)</p> <p>19. クレームを考慮した安定性試験および評価基準の設定</p> <p>19.1 コンパクト製品の「割れ」クレームへの対応</p> <p>20. クレーム率と対応基準(製品改良の目安等)</p> <p>21. 試験法の開発事例</p> <p>21.1 ジグリセリンジイソステアレートによる臭異発生</p> <p>21.2 メチルハイドロジェンボリスロキサン処理粉末によるケッキング</p> <p>22. 処方幅(処方の安定性の幅)について</p> <p>23. 安定性に関する基礎理論</p> <p>23.1 乳化安定性に関する基礎理論</p> <p>23.2 顔料分散に関する基礎理論</p> <p>23.3 口紅の安定性(発汗、発粉、折れ(経時硬度低下))</p> | <p>24. 剤型別品質保証</p> <p>24.1 医薬部外品</p> <p>24.2 化粧水・ジェル・美容液</p> <p>24.3 クリーム・乳液 O/W型、W/O型</p> <p>24.4 ファンデーション・コントロールカラー</p> <p>(クリームタイプ、リキッドタイプ)二酸化チタンの耐光性</p> <p>24.5 ファンデーション・アイシャドウ(コンパクトタイプ)</p> <p>外観色と塗布色、色調を決定する要因、割れ、成型技術、ケッキング、パラヘンの取着による防腐力の低下</p> <p>24.6 ファンデーション(油性・スティックタイプ)</p> <p>24.7 口紅</p> <p>リップクリームにおけるオイル・ワックスの△IOBと融点の関係、変臭クレームへの対応、硬度測定</p> <p>24.8 ネイルエナメル 変褪色、顔料沈降と粘度管理</p> <p>24.9 サンケア製品</p> <p>24.10 エアゾール製品-腐食試験、漏洩試験、詰まり試験</p> <p>24.11 外装・容器</p> <p>口元固着防止ディスペンサー容器、割れ防止クッションビーズを内蔵したコンパクトケース</p> <p>25. 在庫償却について</p> |
|---|---|---|

【質疑応答・名刺交換】

『化粧品安定性』セミナー申込書

| | |
|-------|-----|
| 会社・大学 | |
| 住所 | 〒 |
| 電話番号 | FAX |

| お名前 | 所属・役職 | E-Mail |
|-----|-------|--------|
| ① | | |
| ② | | |

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>